

平成 20 年 4 月 24 日
企画部基本構想担当課

区の将来像等に関する区民意識意向調査・区政モニターアンケートの結果について

1 調査の概要

新基本構想の検討の基礎資料とするため、区民意識意向調査において例年実施している「区の施策および評価」に関する調査に、「区の住みよいところ・住みにくいところ」「区の将来像」等に関する調査項目を 4 項目加えて実施した。モニターアンケートについても、区民意識意向調査と同様の調査項目で実施した。

| | 区民意識意向調査 | モニターアンケート |
|------|---------------------------|--------------------------|
| 実施時期 | 平成 19 年 7 月 13 日～7 月 25 日 | 平成 19 年 7 月 20 日～8 月 3 日 |
| 回答率 | 70.8% (1,062/1,500 人) | 83.7% (251/300 人) |

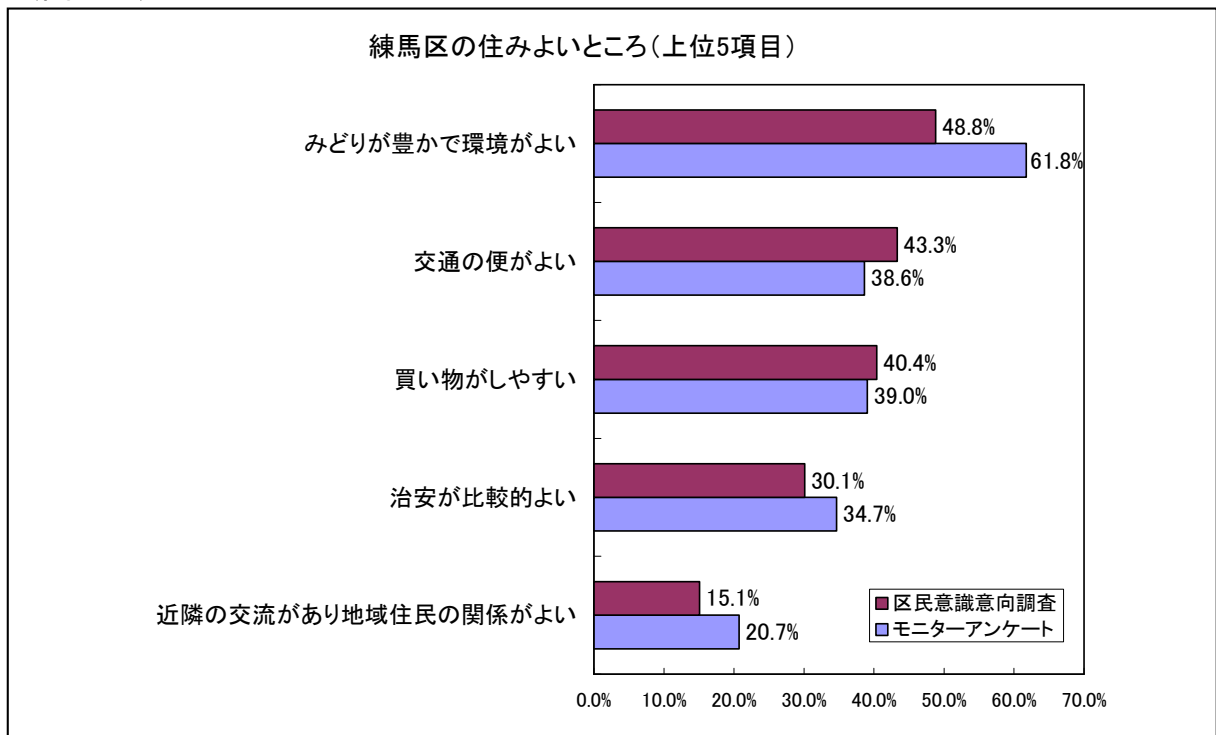
2 調査結果の概要

(1) 住みよいと感じるところ

問 練馬区が住みよいと感じるところに○をつけてください。(3つまで)

◇ 「みどりが豊かで環境がよい」が区民意識意向調査で 5 割、モニターアンケートで 6 割と最も多く、「交通の便がよい」、「買い物がしやすい」も区民意識意向調査・モニターアンケートとも 4 割と多くなっている。(図-1)

(図-1)

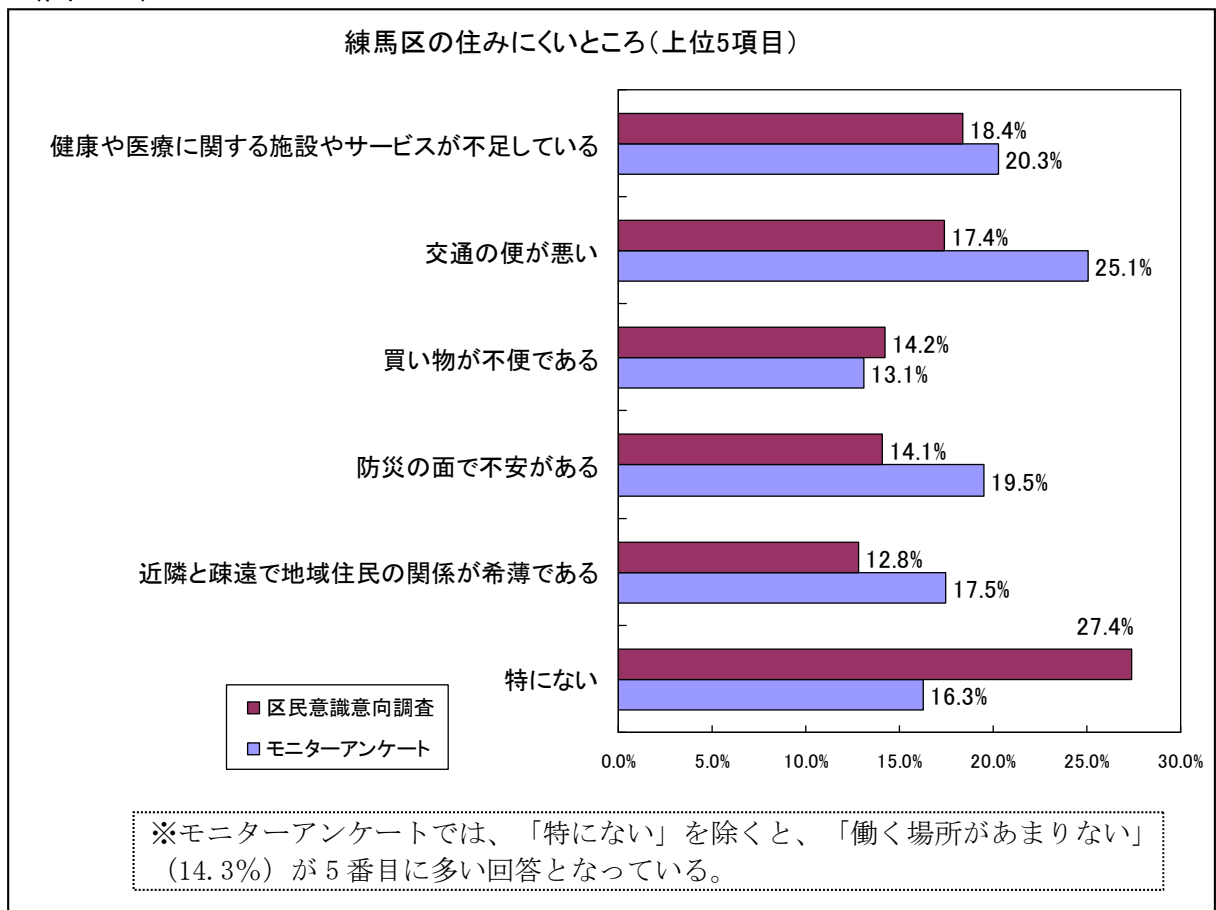


(2) 住みにくいと感じるところ

問 練馬区が住みにくいと感じるところに○をつけてください。(3つまで)

- ◇ 区民意識意向調査では「特にない」(27.4%)が最も多いが、「健康や医療に関する施設やサービスが不足している」(18.4%)と「交通の便が悪い」(17.4%)がともに2割近くで、「買い物が不便である」(14.2%)、「防災の面で不安がある」(14.1%)が続いている。モニターアンケートでは「交通の便が悪い」(25.1%)が最も多く、次いで「健康や医療に関する施設やサービスが不足している」(20.3%)、「防災の面で不安がある」(19.5%)、「近隣と疎遠で地域住民の関係が希薄である」(17.5%)となっている。(図-2)

(図-2)



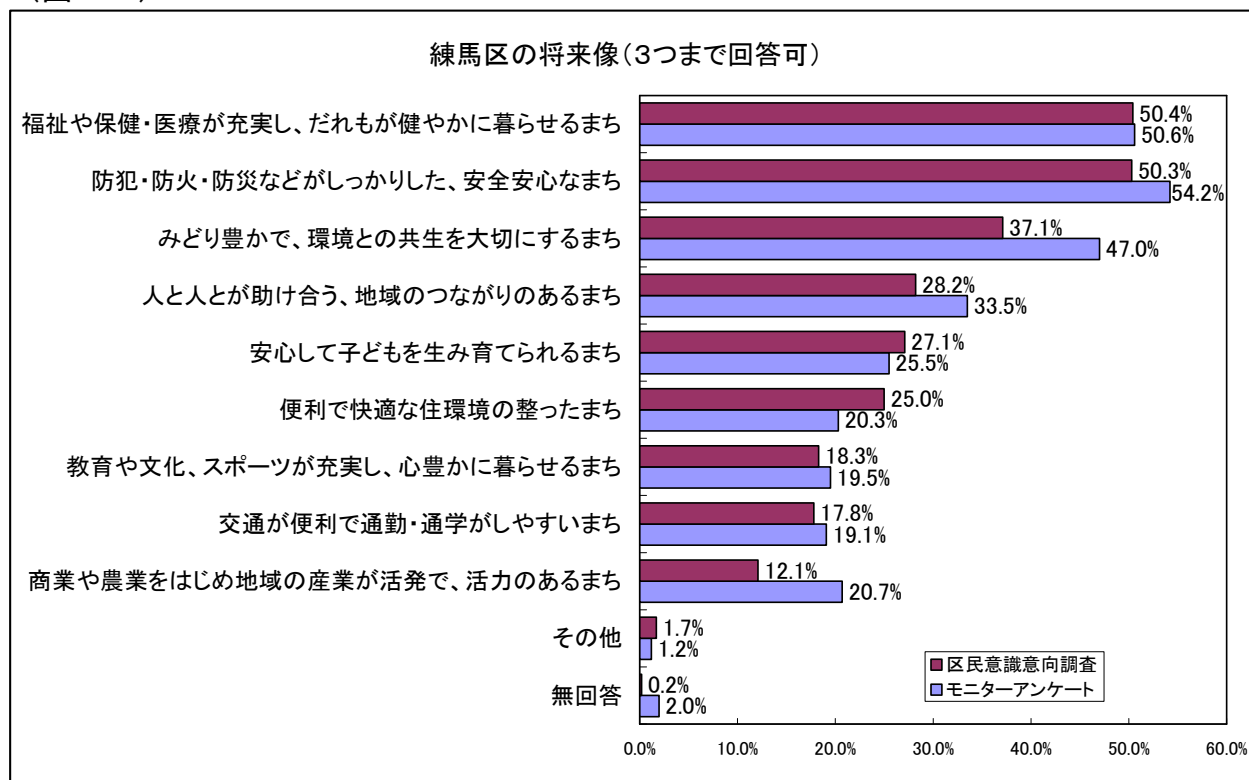
(3) 練馬区の将来像

問 あなたは将来練馬区がどのようなまちになってほしいと思いますか。(3つまで)

- ◇ 区民意識意向調査では「福祉や保健・医療が充実し、だれもが健やかに暮らせるまち」(50.4%)と「防犯・防火・防災などがしっかりした、安全安心なまち」

(50.3%)の2項目がともに5割と多く、次いで「みどり豊かで、環境との共生を大切にすまち」(37.1%)が4割となっている。モニターアンケートでも、順位は異なるものの上位3項目は同様である。(図-3)

(図-3)



(4) 地域活動への参加意向

問 あなたは、今後、仕事や学業以外に、練馬区を住みよいまちにしていくために、何か活動をしてみたいと思いますか。(いくつでも回答可)

◇ 今後してみたい活動としては、区民意識意向調査では、「生涯学習やスポーツなどに地域で取り組む活動」(22.5%)が2割を超えており、次いで「地域の人々が知り合い、交流を広げる季節行事などの活動」(17.5%)、「資源回収やごみの分別、リサイクル活動」(15.5%)などとなっている。一方、「特に参加したい活動はない」(40.8%)が4割ある。モニターアンケートでは、「生涯学習やスポーツなどに地域で取り組む活動」(39.0%)が4割と最も多く、「介護や子育てなどのボランティア活動」(33.5%)、「地域の公園や歩道の清掃などの美化活動」(30.3%)も3割を超えている。(図-4)

(図-4)

